

平成 21 年 7 月 30 日

各 位

会 社 名 アトムリビンテック株式会社  
代表者名 代表取締役社長 高橋 良一  
(JASDAQ・コード3426)  
問合せ先  
役職・氏名 取締役経理部長 吉倉 良治  
電話 03-3876-0600

## 特別損失の計上および繰延税金資産の取崩しならびに 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、特別損失の計上および繰延税金資産の取崩しを行うことといたしました。また、あわせて平成 21 年 1 月 29 日に公表いたしました通期業績予想を修正いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の計上について

##### (1) 商品廃棄損について

当事業年度から適用された「棚卸資産の評価に関する会計基準」に基づき、商品廃棄損 41 百万円を特別損失に計上することといたしました。

##### (2) 固定資産除却損について

金型等の除却損 18 百万円を特別損失に計上することといたしました。

#### 2. 繰延税金資産の取崩しについて

当期の業績見通し等を踏まえ今後の繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産の取崩しをすることとし、法人税等調整額として 146 百万円を計上することといたしました。

### 3. 業績予想の修正

(1) 平成 21 年 6 月期 通期 (平成 20 年 7 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	7,500	0	60	10	2.48
今回修正 (B)	7,012	△109	△47	△465	△115.45
増減額 (B-A)	△488	△109	△107	△475	—
増減率	△6.5%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 6 月期)	8,128	19	133	21	5.34

#### (2) 業績予想修正の理由

当社は、平成 20 年 9 月にその実相が顕在化した、世界的な金融危機に伴う景気後退による新設住宅着工戸数等の急激な減少を要因として、平成 21 年 1 月 29 日付で業績予想の修正を行いました。

しかしながら、当社の第 3・第 4 四半期 (平成 21 年 1 月～6 月) の住宅関連市場全般の環境は、金融危機に伴う信用収縮から、マンション及び不動産流動化事業に関連する上場企業の大型倒産が頻発するとともに、これら破綻があまねく不動産業、建設業にも波及し、平成 19 年度及び平成 20 年度の新設住宅着工戸数が約 40 年前の水準になるなど、過去に経験したことのない未曾有の市場縮小に見舞われるという厳しい事業環境に直面するに至りました。

##### ① 売上高

前回公表した業績予想以後、予想以上の市場規模縮小による取引先の操業短縮・工場閉鎖等の影響で受注が急激に減少したことにより、当社商品の販売は非常に厳しい状況で推移いたしました。このため、売上高は前回予想を大きく下回る見通しです。

##### ② 営業利益・経常利益

売上高の減少により、営業利益・経常利益は前回予想を大きく下回る見通しです。

##### ③ 当期純利益

当期純利益につきましては、上記の理由に加え、投資有価証券評価損 210 百万円を特別損失に計上 (うち 198 百万円は、平成 21 年 5 月 29 日「債権の取立不能又は取立遅延のおそれ及び特別損失発生に関するお知らせ」参照) したこと、商品廃棄損 41 百万円と固定資産除却損 18 百万円を特別損失に計上したこと、ならびに当期の業績見通し等を踏まえ今後の繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産 146 百万円の取崩しを行ったことにより法人税等調整額が増加したため、大幅な損失となる見通しです。

#### 【注記事項】

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

以 上